

平成 29 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 宝ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 柿本 敏男
 (コード番号 2531 東証 第1部)
 問 合 せ 先 IR 部長 掛見 卓也
 T E L (0 7 5) 2 4 1 - 5 1 2 4

平成 30 年 3 月期 連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 5 月 9 日に公表した平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の連結業績予想ならびに配当予想を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期 連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 29 年 5 月 9 日発表)	268,000	14,000	14,400	8,500	42 円 24 銭
今回修正予想 (B)	270,000	15,300	15,800	10,400	51 円 68 銭
増 減 額 (B-A)	2,000	1,300	1,400	1,900	-
増 減 率 (%)	0.7	9.3	9.7	22.4	-
ご参考:前期実績 (平成 29 年 3 月期)	234,193	13,551	14,344	8,480	42 円 15 銭

※当社は本日(平成 29 年 11 月 7 日)、「自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に関するお知らせ」を公表しておりますが、上表における1株当たり当期純利益の算定の基礎となる株式数には、新たに取得する自己株式の数を反映させておりません。

(2) 修正の理由

当第 2 四半期累計期間における当社グループの連結業績は、売上高および営業利益ともに期初計画を上回って推移しております。第 3 四半期以降につきましても、宝酒造インターナショナルグループをはじめ各事業とも堅調に推移する見込ではありますが、子会社の株式譲渡により当該子会社が連結除外となることから売上高、営業利益の減少が発生するため、第 3 四半期以降のグループ全体の業績は概ね期初計画通りとなる見通しです。

こうした状況をふまえ、通期の連結業績予想につきましては、売上高を 2,000 百万円(0.7%)、営業利益を 1,300 百万円(9.3%)、経常利益を 1,400 百万円(9.7%)、それぞれ前回発表予想から上方修正しております。

また、子会社株式譲渡に係る特別利益を計上する見込であることから、親会社株主に帰属する当期純利益については 1,900 百万円(22.4%) 上方修正しております。

各事業セグメント別の通期業績予想数値につきましては、本日(平成 29 年 11 月 7 日)公表しております「平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」に添付の「第 2 四半期決算短信補足資料」をご参照ください。

また、上記の子会社株式譲渡に関しましては、同じく本日公表しております「連結子会社の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金(円)		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 29 年 5 月 9 日)		14 円 00 銭	14 円 00 銭
今回修正予想		15 円 00 銭	15 円 00 銭
当期実績 (平成 30 年 3 月期)			
前期実績 (平成 29 年 3 月期)		13 円 00 銭	13 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社は、健全な財務体質を維持しながら、成長投資を行うとともに、適切な株主還元を実施することによって ROE を向上させ、適正な株価水準を実現することを財務の基本方針としております。

具体的な株主還元方針としては、連結営業利益の水準に応じて増配する方針とし、配当総額の税引後営業利益に対する比率を「*みなし配当性向」として、30%を目安に配当を行うこととしております。

前述の業績予想の上方修正および上記の株主還元方針に基づき、平成 30 年 3 月期の配当予想を当初の 1 株当たり 14 円から 15 円に修正いたします。

なお、平成 30 年 3 月期の配当金につきましては、平成 30 年 6 月開催予定の第 107 回定時株主総会に付議する予定です。

*みなし配当性向 : $\text{配当総額} / (\text{連結営業利益} \times (1 - \text{法定実効税率})) \approx 30\%$

また、本日、当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社(コード番号 4974 東証一部)も、平成 30 年 3 月期の連結業績予想の修正発表をおこなっております。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、これらの数値とは異なる可能性があります。

以 上

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。